

各位

会社名 シンデン・ハイテックス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 淳  
 (コード番号: 3131)  
 問合せ先 管理本部管掌取締役 田村 祥  
 (フリーコール: 0800-5000-345)

通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月13日に公表しました2022年3月期通期業績予想を、本日開催の取締役会において、下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせします。

記

●業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 36,400	百万円 870	百万円 780	百万円 540	265円43銭
今回修正予想 (B)	42,600	1,250	1,050	700	344円09銭
増減額 (B-A)	6,200	380	270	160	
増減率 (%)	17.0%	43.7%	34.6%	29.6%	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	49,084	819	702	497	246円18銭

修正の理由

2022年3月期の通期業績に関しまして、2021年5月13日に公表しました通期業績予想を、修正する理由は以下のとおりとなります。

販売面では、当年度前半は半導体をはじめとする各種商材の供給不足の中、前倒し需要を含む旺盛な需要と価格の上昇、比較的利益率の高いシステム製品分野の販売が順調であったこと、そして遅延していた家庭用蓄電システム向けバッテリービジネスが再開したことで、当初の予想を上回る推移となりました。また、当年度後半は、以下の要因があることを前提として精査した結果、通期において当初の予想を上回り売上高は、42,600百万円（前回発表予想値より6,200百万円増）を見込みます。

- (1) 半導体製品分野及びシステム製品分野は、半導体を中心とした供給不足の影響による生産調整等、また、バッテリー&電力機器分野は、開発の中断や延期等の懸念材料により先行きが依然不透明ですが、一定の需要が継続すると見込んでおります。
- (2) 2021年5月13日に公表の「主要取引先の商流変更（直接取引）に関するお知らせ」にありましたディスプレイ分野における一部ビジネスの商流移管のスケジュールが延期されているため、増加すると見込んでおります。

利益面では、当初の予想を上回る販売状況によって売上総利益が増加するため営業利益は、1,250百万円（前回発表予想値より380百万円増）、経常利益は、1,050百万円（前回発表予想値より270百万円増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、700百万円（前回発表予想値より160百万円増）を見込みます。

なお、今後、為替相場に急激な変動がある場合は、修正した連結業績予想数値に変動の可能性があります。

●配当予想の修正について

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 （2021年5月13日発表）	—	80円00銭	80円00銭
今 回 修 正 予 想	—	103円00銭	103円00銭
当 期 実 績	—		
前 期 実 績 （2021年3月期）	—	75円00銭	75円00銭

修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営政策のひとつとして位置づけ、財政状態や経営環境等を総合的に勘案し、必要な内部留保を確保しつつ、期末配当を実施していく基本方針のもと、連結配当性向を30%としております。

当期の配当予想につきましては、本日公表しました2022年3月期通期業績予想の修正を踏まえ、前回発表した配当予想の80円00銭から23円00銭増配の103円00銭としました。

なお、現段階では今後の為替動向が不透明なため、本日公表しました連結業績予想数値に変動の可能性があります、本配当予想も変動の可能性があります。

(注) 上記の予想に関する記載は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当に関する事項は今後の様々な要因により、本記載数値と異なる可能性があります。

以 上